



学院の旗よ、
薫風になびけ

学院長 井上 良彦



この秋には学院創立120年のお祝いの式典があります。日本の私学でいちばんの先頭が130年を越えたところですから、私たちの歴史も誇りに足る古さと言えましょう。明治18年！帝国議会もまだ、教育勅語も憲法もこれから、という近代日本がスタート準備中という草創期でありました。私たちの先人はほんとうに偉大な一歩を踏み出したのです。

学院はいま、「全学一丸」と「RYM！」をモットーに前進しようとしています。

全学一丸の意味はこうです。学院は、三つの幼稚園・小・中・高・短大と成長し展開してきました。成立した時期もちがうし、立地の場所も別れています。短大も学科ごとに別々に誕生しました。この多様性は一面で特色豊かな彩りを現わしてきましたが、他面では一体性が不十分でした。120年を期に、時代にアピールする学院の姿を打ち出して前進していこうと念願しています。

RYM！とは、Realize Your Mission！（あなたの使命を実現しよう！）という広報戦略です。今の時代はそれぞれの自己実現や使命達成が強く目指されています。「ミッション」と街で愛称される私たちの学院にぴったりの目標ではありませんか。

学院歌が決定しました。「森の都の古城の南・・・星に万古の光あれ」の校歌は創立50年の北陸女学校時代に作られました。これは詞も曲も一流のすばらしい校歌です。120年のことし、全学一丸の精神で、この歌を学院歌として高らかに唱和しましょう。

北陸学院は、60年の還暦を二回越えて、第三期の新たな歴史段階に進もうとしています。名門校はどこでもそうですが、その卒業生が強力に支え、ひっぱりつづけています。また、その母校 alma mater を愛し慕って集まっています。北陸学院の旗が久遠の薫風に高らかになびく時が来ているのです。

使命の実現に想う

学長 野坂 一江



去る5月28日(土)、薫風そよぐここの栄光台(三小牛)に於いて、短期大学同窓会の第5回総会が開かれました。

久しぶりに多くの同窓の諸姉とお会いする機会に恵まれ、懐かしく、楽しい一時でした。感謝です。

さて本年4月より重責を仰せつかることになりましたが、余りにも小さな土の器でしかない自分を痛感しつつも、一方「み言葉」に導かれ、励まされ、信じて進むことの幸をも覚え、このこともまた感謝です。ところで短期大学は、本年4月より4学科に改編されて新しい歩みを始めました。これまでの保育学科・食物栄養学科・人間福祉学科に新しくコミュニティ文化学科(英語コミュニケーション学科と教養学科を母体に)が開設、新入生計377名がそれぞれの学科での学びを始めております。特にコミュニティ文化学科については、大隅恵子前学長が同窓会会報第3号(2003年7月20日発行)に寄稿されておりますが、この地域にあって良き市民として、隣人に仕えていく能力を磨くことを目的とし、従来のような枠にとらわれずに、自分の足元をみながら達成感を味わうことができるカリキュラムを各自が組み立て学ぶ学科でもあります。学生が自らの目標に向かって主体的に学科目を選択し、学ぶことができるユニークな学科ですが、関係各位の熱い思いと祈りに支えられ、多数の学生を迎えることができました。ところで今日の教育現場では、現代の学生達は、人としての素朴な感動の体験に乏しいのではとか、大学に入っても無気力な者が増えているとも言われます。

しかしキリスト教主義教育において、私達が今、心しなければならぬことは、学生ひとりひとりを大切に、物事に感動し、活力ある人になるよう、彼女らの潜在能力を引き出すための手伝いをさせて頂くことではないでしょうか。物差しで計り、マニュアル人間を育てることではありません。本年は北陸学院がこの地に創立されて120年、125周年に向けてのスクール・モットー「使命の実現」に(Realize Your Mission)向け、想いを深くしたい。そのためにも日々聖書のみ言葉を謙虚に聴き、

隣人を愛する者でありたい。そして学生達も将来自分のためだけではなく隣人を愛する優しい心と願いつつ、なお最後になりましたが同窓の皆様方のご多幸を祈りつつ、近況報告と致します。



短大の歴史とともに40年



前学長 大隅 恵子

本日は同窓会の総会にお招きいただきありがとうございます。私が関わった短期大学の思い出を話すようにとのことでしたが、私が現在居住している静岡は本当にのんびりしています。ある方は静岡に三日いるとボケると言われたことを実感して暮らしていますので、記憶も定かでなくなっている部分があることをお許しください。

私が短期大学に勤務するきっかけになったのは、1963年主人が金沢南部教会（当時伝道所）に赴任いたし、翌年の1964年にそれまでの保育短期大学の単科大学でしたのが、英語科の増設を機に栄養専門学校と統合して3学科の短期大学になった年からです。当時学院理事長上河原雄吉金沢教会牧師のお勧めで英語科の助手として就職いたしました。3学科統合しての短期大学とはいえ校舎は保育科は本多町第一幼稚園の二階でしたし、柿木島の知事官舎前の建物には栄養科と英語科と小学校が同居していました。保育科と栄養科はそれぞれの歴史があり、それまでの運営と独自の教育目標がありました。英語科はまったく白紙の状態からの出発になりました。宣教師であったデーター先生が学科長、教授に金沢大学法文学部長を退官なさった神保龍二先生が専任教授、その他は安藤卯吉先生、アメリカ留学から帰国なさった丸岡先生、私が専任でした。事務担当として食物栄養科卒業の浅田さんと19名の学生での出発でした。当時は3学科の短大ではありませんでしたが、合同の教授会はなくそれぞれが学科会議で運営をし、番匠鐵雄学長によって連絡統一されていたようです。この年にケニアからの留学生を迎えたのを契機に英語科での授業を受けたり、英語科の学生が音楽の授業のために保育科の校舎に行ったりする程度の関わりしかなかったと記憶しています。当時は何とか各学科の特徴を維持しながらも一つの短大としての纏まりへの道を模索していましたが、そのための摩擦が多々あったように思います。当時の思い出としては英語科のユニークな英語のみによる授業が話題になったり、会話形式での入試問題が新聞で話題になり賛否両論の議論で紙上にぎわったことがあります。

三小牛への移転は1967年9月でした。この頃は短期大学という教育機関が社会から高い評価を受け、もっとも期待されていましたし、女性の進学率が上がり女性の高等教育機関として地域から大きな注目を集め、受験生も多く競争率が高く不合格者を多く出して関係高校からの質問や問い合わせに汗を流していました。1968年に教養学科が増設され、まさに県内では最も注目され期待を集めた短期女子教育機関として成長いたしました。評価されたのは、勿論キリスト教を基盤として人間教育と各専門分野での教育内容の高さであったと思います。外部では高い評価を受けるようになった一方、短大内部はこの頃から大学としての組織作りや規程の整備が急務になりました。当時各学科の教務担当者は番匠光子先生、野坂一江先生、富岡勉先生、それに私というメンバーでカリキュラム編成から行事の調整、あらゆる分野で統一した短大としての歩み寄りに議論を繰り返し、所属学科

の行事の見直し、指導体制のあり方など、毎回喧々諤々の議論が繰り返されながら、徐々に統一された短大への道を歩いてきました。この時代は金沢大学を退官された多くの先生方が積極的に協力していただき、その豊富な経験と知識から多く学ぶことができましたことは、この短大にとって本当に恵まれた創設時代であったといえます。その後、日本経済の高度成長期にも助けられ短期大学は順調な発展を遂げました。その発展は1990年に星野命学長をお迎えする頃まで続きました。90年代に入りますと女性の社会進出が一層顕著になり、同時に女子の高学歴志向が高まって短大より四年制大学への進学率が高くなり、短大の存続危機が社会問題として取り上げられるようになりました。文部科学省が「短大設置基準の大綱化」を打ち出し、各校の教育目標の明確化と地域のニーズを見据えたカリキュラム編成を求めてきました。「短期大学将来計画プロジェクト」「経営安定プロジェクト」などが組織され、四年制大学設置の可否・既存学科の改編・増設など多角的な議論が交わされ、また現在も更なる発展を目指して議論が交わされています。短期大学の将来計画の討議の中から、高齢化社会を迎えこの地域で求められる人材を見据えて、真に人に仕える介護福祉士の養成を本短大が担うべきであるとの見解から「人間福祉学科」を1999年に増設しました。

北陸学院短期大学が歩んできた道は、その時代、この地域に必要とされている人材の養成を第一にしてきたことだと思います。人格への大きな影響を持つ幼児期の教育に携わる幼児教育者の養成、人間の健康と食の指導を見据えての栄養士の養成、国際社会での英語運用能力を備えた人材の育成、社会の根底を支える賢明と豊かな人間性を備えた教養ある人材の育成、隣人に仕える愛の精神を備えた介護福祉士の養成など広い意味での地域のニーズに密着して貢献してきたと思います。

いろいろ振り返ってききましたが、最後に最近私が感じていることを付け加えたいと思います。現在私がいるところはのどかな田園が広がり、いろいろな野菜が育っています。ジャガイモの花、きゅうりの花、みかんの花、えんどうの花、じっくり眺めますと本当に可憐で楚々として美しいものです。バラやランなどの観賞用の花のような、華やかな美しさはなく、その多くはいつの間にか咲いてしぼんでいく、野菜を得るためだけの小さな花に過ぎません。その存在は周りには気づかれないかもしれませんが、しかし、野菜の花は、人々に季節の味や栄養をもたらし、人々の役に立つ働きと使命とを担っています。

北陸学院の教育を受けた人々にもそんな美しさが備わっているのではないのでしょうか？またそのような美しさを身につけるような教育を北陸学院が担って行く責任を与えられているような気がします。卒業生お一人お一人がその置かれた場所で、学院で身につけられた楚々とした品格をもって周囲に栄養と味を与えられるようにと願っております。

(2005年5月28日北陸学院短期大学同窓会総会特別講演より)

金崎 由佳さん

2003年度卒業
人間福祉学科4回生

私が、キャンパスで一番好きだった場所は図書館でした。授業の空き時間などに課題を済ませたり、日当たりの良いソファで本を読んだり、時には居眠りをしたり。とても居心地の良い場所でした。短大を卒業して一年が経ちました。私にとってこの一年はあつという間のものでした。老健に就職し、日々利用者の笑顔、感謝の言葉を聴くたびに、やはりこの仕事を選んでよかったと思います。しかしその反面、忙しい業務に追われ、自分を見失いがちになることもあります。そんな時は初心に戻り、自分は何でこの仕事を選んだのか、今出来る事は何か考え、そして相手に対する思いやりの心を決して忘れずに、これから一生懸命働いていこう、と自分を励ましています。そしてどんな時も、心にゆとりをもてる人でいたいものです。そしてそろそろ、ゆっくり本でも読む時間を自分に作ってあげようかな、と思う今日このごろです。



横山 康子さん

1969年度卒業
教養学科1回生

卒業して35年の年月が過ぎようとしています。親に勧められるままに中等部へ入学し、高校・短大と8年間で学院で学びました。当時、短大へ通うのに平和町でバスに乗り途中の坂道にさしかかると「野うさぎ」がピョンピョンはねているのによく目にしました。晴れた日には友人達とよく屋上に上がり「この景色は本当にきれいね。」と360度の大パノラマを楽しみました。今は故人となられた天羽先生の指導の元に校舎の一部に芝桜を植えたことも懐かしい思い出です。

さて、私が「いけ花」を習い始めて17年経ちますが、若き日に豊かな自然の環境に身をおいていたことも習うきっかけになっているかと思えます。

記憶があいまいになっているかも知れませんが、短大の玄関にヘブライ語で彫られた金属板が掲げてあったと思います。箴言1章7節の聖句『主を畏れることは知恵の初め。』と言う意味だと聞かされ、私の心のまん中で、これこそが学院の教育の基いなのだと強く思いました。テストの結果や知識の多さで判断されがちな私共ですが、生涯を首尾一貫して通す真の人間教育をして下さる学院で学べたことを年を重ねるごとに感謝しています。



矢尾世津子さん

1978年度卒業
英語コミュニケーション学科14回生



卒業してから四半世紀、その間殆ど出向いたことのない母校。その同窓会のお手伝いをして自分にも驚きながらも学科を越えての先輩方との活動に心地よさを感じるこの頃です。

昨年夏のディーター先

生との再会、タイムスリップした?とも思える当時のままの若々しい姿から今も楽しく学んでおられる様子が目に浮かびました。また同窓生の山あり谷ありのお話、とても刺激となり皆さん素敵に年を重ねられている様が印象的でした。そして総会では3月に退職された大隅先生の近況や短大の歩みのお話を興味深く聞き入りました。

私と言えば今も英語への興味は中途半端に続いており、年に一度TOEICを子供に負けじと受験。仕事の傍ら「老いは足から、を覆すべくジョギングを始め年2回はマイペースで笑顔でゴール!をモットーにフルマラソンに参加。自己満足の世界ですが送り出してくれる家族、走れる体、すべてに感謝できる瞬間があります。

高校生でも社会人でもない自由で多感な時期に学んだ三小牛に、折あればぜひ足を運んでみて下さい。きっとその頃の夢みる乙女?に出会えるかもしれません・・・

田中真理子さん

1978年度卒業
食物栄養学科15回生

早いもので短大を卒業して四半世紀が過ぎました。食物栄養科を卒業した私は、縁あって八年前から保育園で栄養士として働いています。学生時代学んだことも忘れていないうえに、栄養学の進歩と、最近の溢れる栄養情報に戸惑うことも多々あります。現場で少しずつ学んでいる状況ですが、同じ学舎を巣立った友人達に随分と助けられています。

分からないことを聞いたり、情報交換したり、相談にのってもらったり・・・。勿論仕事のことだけでなくいろいろな話をすることが楽しく、ストレス解消にもなります。北陸学院で得たものは幾つもありますが、その中でも友人達が一番の宝だと思っています。娘が進路を決定しようとしている今、本人の意志が一番であることは当然ですが、生活していくうえで基本の食生活を



を学べる食物栄養科を選択するのもよいのではないかとアドバイスしています。

同窓生—ing

母校で学んだことを活かして、
様々な場面で活躍されている
5人の方々をご紹介します。

金子 桂子さん

1977年度卒業
保育学科27回生

少子化が大きな問題となっている昨今、平成8年秋、『子供たちが健やかに生まれ育つ環境づくり』をと設立された(財)いしかわ子育て支援財団の育児サポーターに登録し、現在に至っています。

サポーターとして大勢の親子に出会う中、支援すべき方々や子供達から学ぶ事の何と多い事でしょうか!

〔育児は育自と言われますが本当ですよ・・・実感〕

昨年からは「親業モデル人形劇」の活動も手伝っています。等身大の人形を用いて子どもとの接し方や会話の方法、家庭内でのさまざまな状況を人形劇で表現するのです。そして、コミュニケーションの大切さを感じていただくことで、より良い親子関係を築く為の参考になればと願っています。

財団の活動で色々な場所に行きますが、どこに行っても必ず学院の卒業生に会い、それが心強く励みにもなります。皆様の益々の活躍を願っています。



栄光台をたずねて

■ コミュニティ文化学科

コミュニティ文化学科誕生

学科長 澁谷 良穂

2005年4月、110名の新入生を迎えて「コミュニティ文化学科」がスタートしました。ほとんどの学生が地元出身であり、卒業後も地元で就職し生活すると予想されることから、まさに「地域社会（コミュニティ）で活躍できる女性の育成」を目指します。

北陸学院のキリスト教に基づいた人格教育を土台に現

代社会の幅広いニーズに応えた多彩な分野の学びができ、2年間で多種多様な資格取得ができるのが特色です。司書、中学校教諭（二種）、情報処理士などに加えて、新たに幼稚園教諭、子ども英語インストラクター、ホームヘルパー（2級）、医療事務関連の資格など卒業までに取得可能な資格が17もあります。

新入生のオリエンテーション後の感想に「この学科を選んでよかった」というのがありました。これからも教職員一同心を合わせて卒業後までそうしてもらえような学科にしていきたいと思います。同窓生の皆様方の温かいご理解とご支援をお願い申し上げます。

■ 人間福祉学科

地域に開かれた福祉教育・研修の拠点に

学科長 由田美津子

早いものでこの3月には5回生が巣立ち、入学生は7回生を迎えました。卒業生の皆様には介護の専門職としてそれぞれ福祉や医療の分野で元気に活躍のことと存じます。卒業時に介護福祉士資格が取得できる当学科は、感性豊かな人づくりを大切に、本学らしい魅力的な福祉のスペシャリストを世に送り出して参りました。

介護福祉士の資格取得には養成校で学ぶ方法と実務3年後国家試験受験の方法があります。近年の受験者増に

苦慮する国は対策として今年、国試の実技試験に代わる「介護技術講習会」制度を導入しました。その実施機関として本学も講習会開催5回を決めました。募集には4月早々予約は満席となり、新潟や北陸三県からも参加があります。

在学生の教育に万全を期すことは勿論、今後卒業生対象の介護支援専門員研修等も考えており、広く介護職の資質向上の為に研修拠点としてご活用頂ければと教職員一同頑張っています。ぜひお立ち寄り下さい。



■ 食物栄養学科

食育のできる栄養士をめざして

学科長 野坂 一江

本学科では今年度の入学生から栄養教諭二種免許が取得できるようになりました。すなわち、食物栄養学科として栄養士免許の他、数年前から希望者はフードスペシャリストの資格が取得できるようになっておりますが、さらに、新しい分野が加わりました。

今、食環境が変化するなか、偏食や朝食の欠食など、子どもの食生活の乱れが大きな問題となっております。このような中で子ども達が生涯にわたって健康な生活をするために、正しい食習慣を身につけるよう指導ができる栄養教諭制度が創設され、今年度よりその養成が全国で始まりました。従来の栄養士免許取得のための学科目

を土台に教員免許取得のための学科目を選択受講しなければなりませんので、かなりハードなカリキュラムになりますが、多くの入学生がこれを目標に勉強をはじめております。

また、去る2月には、「子どものための食育」をテーマに体験学習を実施しました。学生達が小学生と一緒に調理実習をし、食生活指導するもので、学生達にとっては貴重な学びの場となりました。

今、栄養士の働く場も大きく変化しておりますが、本学科でも、社会の要請に応えられる栄養士を送り出すために、日々努力をしております。



■ 保育学科

美しい風景の中で

学科長 笠間 清

本年三月末突然保育学科長を命じられました。

学生の造形に関する指導と、自分が行ってきた絵画の制作が何らかの形で、少しでも学院に役立つことがあれば、と考えてきた者にとって、とまどいの多い新学期であります。

立山や白山、そして、信州などの山々を写生してきた者にとって、三小川の風景は、どこにも負けない清冽な風景だと思っています。おそらくはじめてこの風景に接した学生たちは、大いなる感動をおぼえただろうと推測いたします。

このようなすばらしい環境の中で、多忙な日々を過ごされる仲間の先生方が、学生に対する指導と相まって、研究活動（論文執筆、講演活動など）にがんばっていただきたい。そのような雰囲気ができるように願うものです。そのことが、良い意味で学生たちの学習に還元できることであろうと信じます。

●北陸学院創立120周年記念事業のお知らせ●

北陸学院は2005年に120周年を迎えます。幼稚園・小学校・中学校・高等学校・短期大学がますます発展して行くことを願っています。短期大学同窓会の皆様の日頃のご支援を感謝いたしております。さてその記念事業に先立ちまして、行事のご案内をさせていただきます。

創立記念式典

日 時：2005年10月21日(金) 午前10時～11時 場所：金沢市観光会館

参加方法：申込み不要。短期大学同窓生の方々も多数ご出席ください。

記念講演会

内 容：お話と歌 演題：『ひとつのいのち、ささえることば』

講 師：新垣 勉氏

～全盲と天涯孤独の不幸を乗り越え、自分にしか出来得ない生き方(オンリー・ワン)を創造する魂のテノール歌手～

日 時：2005年11月5日(土) 開場：午後5時～ 開演：午後6時～ 場所：金沢市文化ホール

参加方法：短期大学同窓生の方々には記念事業本部宛に往復はがきでお申し込みください。入場無料です。

記念講演会(人間福祉学科特別公開セミナー)

内 容：パネルディスカッションと講演 演題：『尊厳のある暮らし』

講 師：佐伯 輝子氏

日 時：2005年10月15日(土) 午後1時30分～ 場所：石川県女性センター

参加方法：短期大学同窓生の方々には記念事業本部宛に往復はがきでお申し込みください。入場無料です。

<申込先>〒920-1396 石川県金沢市三小牛町イ11番地

北陸学院創立120周年記念事業本部 TEL 076-280-3858

献金のご報告とお礼

北陸学院短期大学同窓会奨学金の募集に対し、多くの方にご協力いただき、ありがとうございます。199名の方から928,860円の献金をいただきました。

2004年度は2年生の方1名に奨学金として147,500円(後期授業料)をお贈りし、無事学業を終えられ卒業なさいました。とても感謝しているとのことでした。

皆さんの善意の献金がこのように後輩の役に立てることをとてもうれしく思っております。引き続きご協力よろしくお祈りいたします。

奨学援助資金のための献金をお寄せいただいた方々

櫻田 敏子(保育1)	三和 雅子(保育10)	金崎久美子(保育31)	中崎 純子(栄専6)	荒井 典恵(食栄4)	橋本 紀子(食栄7)	山崎 久美(英語17)
金子 俊子(保育1)	東野 律子(保育11)	中橋まゆみ(保育36)	千田 静子(栄専7)	横井 堯子(食栄4)	中村喜代美(食栄9)	松本 淑子(英語18)
青島 博子(保育1)	影近 伸子(保育12)	稲原 順子(保育39)	江尻 栄子(栄専8)	古賀 春子(食栄4)	荒木真佐美(食栄12)	村田 博美(英語19)
秋山 星子(保育1)	江尻美根子(保育12)	吉田 恵美(保育43)	中村 祥子(栄専8)	山田 桂子(食栄4)	長田 敦子(食栄15)	宮川 佳代(英語21)
飯田 米子(保育1)	深谷 英子(保育12)	田中千映子(保育44)	大原 悦子(栄専8)	小杉美智子(食栄4)	森 昌代(食栄17)	水野かおり(英語23)
小中 輝子(保育2)	今井 紀美(保育14)	川北 恵美(保育41)	今井 恵子(栄専9)	高田 貞子(食栄4)	黒田 朝子(食栄19)	高橋 朋子(英語25)
水谷 庸子(保育3)	鍋山のぶ子(保育16)	友屋いづみ(保育56)	波多野由美子(栄専9)	左藤 京子(食栄4)	常光裕美子(食栄19)	森 由紀子(英語29)
久保 澄子(保育3)	嶋 静子(保育16)	山本 実奈(保育53)	隆 文子(栄専9)	田中 裕子(食栄4)	高林真理子(食栄20)	八百板 香(英語30)
鈴木 優子(保育3)	田守 静子(保育17)	増林 加菜(保育53)	島崎悠輝子(栄専10)	架間千鶴子(食栄4)	中山よし子(食栄21)	横山 康子(教養1)
大窪 博子(保育4)	羽田 静代(保育18)	寺井万里子(保育53)	河越 逸子(栄専10)	安江八重子(食栄4)	田中 聖子(食栄35)	高橋 隆美(教養3)
小川 和子(保育4)	川畑紀代美(保育18)	根岸ゆり子(栄専1)	片山 てる(栄専10)	皆本 和栄(食栄4)	野坂 智子(食栄38)	野坂 佳子(教養4)
森 正栄(保育4)	大倉知津子(保育18)	毛利美枝子(栄専1)	竹内 恵子(栄専10)	毎田 裕子(食栄4)	松村 清子(英語1)	田井 敏江(教養6)
山敷 紀子(保育6)	今川 節子(保育18)	竹末 吉子(栄専1)	近岡 美舟(食栄1)	福田 洋子(食栄4)	金多 妙子(英語4)	北出 京子(教養8)
茶谷 禎子(保育6)	大里 幸子(保育18)	間口まさ子(栄専2)	高田 恵子(食栄1)	土屋 静(食栄4)	柴田アサエ(英語4)	寺口 良美(教養11)
小坂千栄子(保育6)	福本 伸子(保育18)	高田 栄子(栄専2)	二見悠紀子(食栄1)	山下 千代(食栄4)	山森 悦子(英語5)	浦田 隆美(教養13)
山田 信子(保育7)	麻田 智子(保育19)	久我ももよ(栄専2)	関 智恵(食栄2)	斉藤美智子(食栄4)	野坂 裕子(英語7)	出島 宏子(教養13)
浜田 式子(保育7)	佐野由加利(保育19)	坂井 良子(栄専2)	北門 善枝(食栄3)	押野マリエ(食栄4)	奥野 道子(英語8)	飯野 昌子(教養13)
久保 そと(保育7)	吉崎 優子(保育19)	竹田 佳子(栄専2)	久世 睦子(食栄3)	三井 玲子(食栄4)	森沢ますみ(食栄8)	荒井 章子(教養14)
野村 昭子(保育7)	川北 喜美(保育20)	高瀬 照子(栄専3)	米田 和美(食栄3)	宮本 典子(食栄4)	野坂佐知子(英語8)	村田 郁子(教養14)
中山佐智子(保育8)	熊谷 順子(保育20)	川村外久子(栄専3)	西村 淳子(食栄3)	金子 量子(食栄4)	前田真樹子(英語8)	高橋 美和(教養14)
牧野 弘美(保育8)	中嶋 京子(保育23)	小林 桂子(栄専3)	宮城 香子(食栄3)	地引 庸子(食栄4)	市村ゆかり(英語11)	盛口 弥生(教養14)
松本 敦子(保育8)	山口 厚子(保育24)	小泉 みな(栄専3)	小橋 雅子(食栄3)	林 宣子(食栄4)	藤田 幸子(英語12)	上田英津子(教養25)
中村 節子(保育8)	斎藤 由子(保育25)	伊藤千鶴子(栄専4)	佐藤千賀子(食栄4)	山岸佐恵子(食栄4)	長田 智子(英語12)	玉川 雅子(福祉1)
石田満寿美(保育9)	飯田 恵華(保育25)	吉田 幸子(栄専5)	杉宮 広子(食栄4)	島田 晴美(食栄5)	荒木 祐子(英語13)	清水 一沙(福祉4)
狩野 裕子(保育9)	宮下 京子(保育25)	春成 和子(栄専5)	中藤美和子(食栄4)	上田富士恵(食栄5)	柴田 恭子(英語13)	
森 みどり(保育9)	大浦 桂子(保育26)	西田 芳子(栄専6)	渡辺 栄子(食栄4)	新澤 祥恵(食栄6)	山本 優子(英語14)	由田美津子(福祉教員)
正木 信子(保育10)	坂下 隆子(保育27)	中西 鈴子(栄専6)	久木 嘉子(食栄4)	久家三恵子(食栄6)	辻口 秋恵(英語14)	
魚住 慧子(保育10)	柴田由紀恵(保育27)	佐野 恵子(栄専6)	浜田 孝子(食栄4)	高村 百代(食栄6)	谷本 法子(英語16)	
松山 泰子(保育10)	藤原 智子(保育28)	奥村 一公(栄専6)	高井 明子(食栄4)	稲本外喜代(食栄6)	四日 薫(英語16)	

計 199名 総 額 928,860円

役員より一言

私は2003年度より同窓会の副会長をさせていただいており、北陸学院短期大学ヘッセル記念図書館に勤務しています。当館は学外の方にも開放しています。卒業生の方も図書館での閲覧・貸出ができます。仕事に関連して専門書を借りにくられる方、お子さんを第一幼稚園や小学校へ送迎されるついでに絵本や子育ての本、小説等を借りる方等多くの卒業生の方が利用されています。

私たち図書館員は全員本学を卒業した司書です。同じ卒業生同士お気軽に図書館をご利用ください。お待ちしております。(詳しくは図書館へお電話ください。076-280-3852)

北陸学院短期大学同窓会副会長 大西 敏子



◇ 2005年度総会報告 ◇

2005年5月28日(土) 開催 於 三小牛キャンパス

鮮やかな新緑と山々を見晴らす懐かしい学舎に迎えられて、遠く近くから147名の同窓生、10名の先生方の出席のもと、第5回総会が開催されました。



本年は北陸学院の周年記念(今年は創立120周年)に合わせて5年ごとに全体総会を行うと定める会則に則ってその第1回が開催されましたが、特にこの3月をもって学長を退任された大隅恵子先生のご講演と感謝の集いに寄せる皆さんの思いが熱く結集したように思いました。

【総会次第】 於 番匠鐵雄記念礼拝堂

礼拝 奨励 日本基督教団若草協会牧師 学院理事

会長挨拶 同窓会長 楠本史郎先生
学長挨拶 学 長 森 正栄
野坂一江先生

- 1 2004年度活動報告
2 2004年度決算報告
3 監査報告
4 役員選出・役員紹介
5 2005年度活動予定案 審議
6 2005年度予算案審議
7 その他 ・ 蚤の市・クリスマス献金の感謝
・ 同窓会奨学金を2004年度1名に給付



◆講演

「短大の歴史とともに40年」 前学長 大隅恵子先生
同窓会より謝辞および記念品・花束贈呈

◆懇親昼食会

於 短期大学A食堂
昼食会後、英語コミュニケーション学科卒業生が大隅先生を囲んで歓談の時を持ちました。

2004年度 北陸学院短期大学同窓会役員名簿

Table with columns: 氏名, 卒業学科, 名誉会長, 副会長, 書記, 会計, 庶務, 幹事, 会計監事. Lists names and graduation departments.

卒業学科 (現名称)

【2004年度(2004.4.1~2005.3.31)活動報告】

- 2004.4.3(土) 役員会
2004.5.8(土) 役員会
2004.5.12(水) 総会資料作成
2004.5.15(土) 役員会 総会準備作業
2004.5.22(土) 2004年度総会 開催(於: レストランMEGU) 出席56名
2004.6.5(土) 役員会
2004.7.10(土) 同窓会会報『栄光台の薫風』第4号発行
2004.7.17(土) 同窓会会報発送作業(役員・回生委員)
2004.8.7(土) 役員会(蚤の市計画)
2004.9.25(土) 役員会(蚤の市関連)
2004.10.2(土) 役員会(同上)
2004.10.23(土) 役員会(同上)
2004.10.27(水) 蚤の市チラシを近隣各戸に配布 献品整理(役員・幹事・回生委員)
2004.10.28(木) 同窓会賞授与式
蚤の市献品仕分け作業(役員・幹事・回生委員)
蚤の市会場設営・販売品を陳列・値付け作業(役員・幹事・回生委員)
2004.10.30(土) 第8回蚤の市開催(北陸祭併催)
2004.11.20(土) 役員会
2004.12.11(土) クリスマス礼拝 製作 お茶会
2005.2.12(土) 役員会
2005.3.10(土) 新会員入会式(322名入会)
2005.3.26(土) 役員会

【2005年度(2005.4.1~2006.3.31)活動予定(案)】

- 2005.4.3(土) 役員会・新役員組織
2005.4.23(土) 役員・幹事会 新年度活動・行事・予算審議
2005.5.14(土) 役員会(総会準備 資料作成)
2005.5.28(土) 総会(5周年記念 第一回)
於 番匠鐵雄記念礼拝堂・フレンドシップホール
2005.6.(土) 役員会
2005.7.9(土) 同窓会会報『栄光台の薫風』第5号発行日
2005.7.23(土) 同窓会会報発送作業
2005.8.(土) 役員会
2005.9. 役員会
2005.10. 役員会・蚤の市関連打ち合わせ、作業など
北陸学院創立120周年記念式典
於 金沢市観光会館(同窓会員参加)
2005.10.27(木) 同窓会賞授与式 蚤の市準備作業
2005.10.28(金) 蚤の市準備作業
2005.10.29(土) 短大祭 蚤の市開催
2005.11.5(土) 北陸学院創立120周年記念講演会
新垣 勉氏 於 金沢市文化ホール
2005.11. 役員会
2005.12.10(土) 同窓会クリスマス礼拝 お茶会など
2006.2.(土) 役員会
2006.3.13(月) 同窓会入会式
2006.3.(土) 役員会

2004年度 北陸学院短期大学同窓会 収支決算報告

自: 2004年4月1日~至: 2005年3月31日 単位: 円

Table with columns: 収入の部, 科目, 2004年度予算額, 2004年度決算額, 備考. Includes sub-section for other assets.

Table with columns: 支出の部, 科目, 2004年度予算額, 2004年度決算額, 備考. Includes sub-section for special accounts.

特別会計 奨学援助資金(蚤の市・クリスマス・献金)
期首(2004.4.1) ¥571,584 期末(2005.3.31) ¥1,528,836
上記決算は適正且つ正確に行われたことを認めます。
2005年5月6日

監査 野坂一江
監査 高島深子

2005年度 北陸学院短期大学同窓会 収支予算(案)

自: 2005年4月1日~至: 2006年3月31日 単位: 円

Table with columns: 収入の部, 科目, 2004年度予算額, 2005年度予算額, 備考.

Table with columns: 支出の部, 科目, 2004年度予算額, 2005年度予算額, 備考.

特別会計 奨学援助資金
(2005年3月31日現在) ¥1,528,836



Click! 短大通信



北陸学院短期大学 Open House のご案内

第2回 2005年8月5日(金)6日(土)8日(月) 9:30~16:00

★短大生を体験しよう

模擬授業やキャンパス見学……
在学生と一緒に短大生ライフを体験できるよ。

第3回 2005年9月17日(土) 9:30~16:00

★卒業生のお話を聞こう

卒業生はいろんな分野で活躍中!
やっぱり気になる卒業後のお話を聞きにいこう!

大学祭 2005年10月29日(土) 10:00~15:00

★進学相談コーナー

キャンパス見学や個別相談、寮見学など、
知りたいことをいっぱい聞いちゃおう!

第4回 2005年12月10日(土) 13:00~16:00

★クリスマスを楽しもう

チャペルでムードたっぷりのクリスマス体験!
一般入試の対策講座も開講するよ。

第5回 2006年3月18日(土) 13:00~16:00

★「なりたい自分」がきっと見つかる!

短大はどんなところ?何が学べるの?どんなカンジ?
ちょっとだけのぞいてみよう!

【お問い合わせ】 北陸学院短期大学 入試広報課 〒920-1396 金沢市三小牛町イ11番地
TEL&FAX 076-280-3855 E-mail nyushi@hokurikugakuin.ac.jp



北陸学院は2010年に
創立125周年を迎えます。

2010年、北陸学院は創立から125周年を迎えます。これを機に本学院では、「Realize Your Mission」をスクール・モットーに、一人ひとりのミッション(使命)をいま一度見つめ、「最高の学びの場」へと成長するため、新たな一歩を踏み出しました。

Realize Your Mission

あなたの使命を実現しよう

個性豊かな4つの学科

コミュニティ文化学科

2005年4月に、新しくスタートしました。学生一人ひとりが将来の夢を実現するため、「なりたい自分」探しに挑戦できるように様々な角度から学ぶ学科です。幅広い分野の学び、地域(体験)学習、資格取得への挑戦を通して、将来地域(コミュニティ)で活躍する女性を目指します。

目的や興味によって組み合わせはいろいろ・・・

従来の資格+プラスα(付加価値)で可能性が広がります!

取得資格	資格/卒業と同時に取れるもの(免許、修了証、認定証)	検定資格/在学中に取得をサポートするもの	
取得資格	<ul style="list-style-type: none"> ●司書* ●中学校教諭二種免許(外国語[英語])* ●幼稚園教諭二種免許* ●小学校英語指導者認定証 ●子ども英語インストラクター ●介護保険事務管理士受験資格 ●医事管理士受験資格 ●医療管理秘書士受験資格 ●医療事務士受験資格 	<ul style="list-style-type: none"> ●保健児童ソーシャルワーカー受験資格 ●情報処理士 ●上級情報処理士 ●プレゼンテーション実務士 ●訪問介護員(ホームヘルパー)2級 ●社会福祉主事任用資格 ●レクリエーション・インストラクター ●フードコーディネーター3級 	<ul style="list-style-type: none"> ●食生活アドバイザー検定 ●実用英語技能検定 ●TOEIC ●TOEFL ●ビジネス英語検定 ●観光英語検定 ●通訳技能検定 ●ボランティア通訳検定 ●翻訳実務検定
	<p>所定の学科目の単位が求められます。 ※…国家資格</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●福祉住環境コーディネーター ●Microsoft Office Specialist ●情報処理技能検定 ●日本語ワープロ検定 ●漢字検定 ●秘書技能検定 ●簿記検定 ●ビジネスコンピューティング検定 	<p>資格取得を支援(奨励)しており、 検定対策のための科目や講座を開講しています。</p>

人間福祉学科

専門職に必要な知識・技術に加え、感性豊かな本当の優しさを持つ介護福祉士を目指します。福祉で最も大切なのは、介護を必要とする方々の気持ちや痛みを感じとれる豊かな感受性と他人を思いやる優しさです。学生一人ひとりの個性を伸ばし、福祉の心が身につくよう温かくサポートします。人間福祉学科の卒業生は今、それぞれ福祉の現場で活躍しています。

開設以来100%の就職率を達成

高齢社会の中、介護福祉士を求める声はさらに増加!

取得資格……介護福祉士(国家資格)・社会福祉主事任用資格・医事管理士受験資格・レクリエーションインストラクター・医療管理秘書士受験資格・
介護保険事務管理士受験資格・生きがい情報士・福祉住環境コーディネーター

食物栄養学科

実験・実習を重視し、実践的食生活指導者としての実力と健康づくりアドバイザー能力を備えた栄養士の育成を目指します。将来に備え、管理栄養士国家試験受験に必要な学科目も広く学ぶことができます。

取得資格……栄養士免許(国家資格)・栄養教諭二種免許(国家資格)・フードスペシャリスト

保育学科

徹底した理論と実践の一致を目指した教育により、人間性の確立に大きく影響する幼児期の子どもたちを育てる保育者の育成を目指します。卒業と同時に三つの資格が取得できます。就職率は毎年100%です。

取得資格……幼稚園教諭二種免許(国家資格)・保育士資格(国家資格)・社会福祉主事任用資格

今年と同窓会活動

北陸学院短期大学同窓会奨学金へのお願い

2004年度より、同窓会に奨学金制度を設け、短期大学生への援助活動をはじめました。これは、元学長の星野命先生から、元学院長番匠鐵雄先生の遺品のバザーでの売上げ金を将来奨学援助資金として生かしてもらいたいというご提案があり、それを引き継いで実現したものです。当初はクリスマス礼拝の献金を積み立ててきましたが、2003年度からは、蚤の市の売上金とともに奨学援助資金として制度化しました。さらに、昨年度より、バザーへの献品だけではなく、献金もとお願いしましたところ、多くの方々のご協力をいただくことができ、昨年度、2年生1名の方に奨学金として援助いたしました。(5頁参照)

今年度も振込用紙を同封いたしますので、是非ご協力をお願いいたします。

2005年10月29日(土)の蚤の市もお待ちしています。



北陸学院短期大学同窓会
のみ いち
蚤の市



毎年恒例となりました同窓会主催の『蚤の市』が、北短祭の一般公開にあわせて今年も秋に開催されます。

- 日時 2005年10月29日(土)
午前9:30～ 売り切れ次第終了
- 場所 北陸学院短期大学構内ライザー記念館
～ご家族、ご友人お誘い合わせお越しください～
コーヒー/紅茶/手作りクッキー・ケーキもあります。
懐かしい方々との再会をお楽しみください。

ぜひ 献品にご協力ください!

9月初旬～10月中旬

蚤の市の売上げは勉学の継続が困難な学生のために奨学援助資金とします。ぜひ、ご協力ください。

- ★ 献品の品 ★ ・日用雑貨品、衣類等(新品あるいは新品同様のものをお願いします)
- ★ 献品の方法 ★ ・同窓会事務局へ持参または郵送(短大同窓会事務局宛)

同窓会事務局より

同窓会の活動に関するご質問・ご要望・ご提案などがございましたら、どんなことでも同窓会事務局までお寄せください。

- ◇開室日: 毎週月曜日、水曜日、金曜日
- ◇開室時間: 午前9時～16時
- ◇事務担当者: 黒杉 茂子

【住所等変更のご連絡について】

①氏名(旧姓) ②卒業学科名、年度 ③住所 ④電話
を明記の上、書面、ファックス、メールのどれかでご連絡ください。
お電話でのご連絡は受付かねますので、ご協力のほどよろしくお願ひします。

町村合併に関する住所変更については、県内に関しては追々更新しておりますが、県外に関しては、なかなか手が回らない面もありますので、お気づきの点ございましたら、ご一報お願いします。

※会員名簿については個人情報保護法にもとづき、事務局で責任をもって管理し、同窓会活動に関する連絡以外には使用しません。

クリスマス礼拝

同時開催 短大オープンハウス

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

日時

2005年12月10日(土)
午後2:00～(受付1:30～)

場所

三小牛キャンパス内
番匠鐵雄
記念礼拝堂



礼拝後に国際交流研修センターでクリスマスオーナメント作りを計画しています。
(実費500円程度ご負担下さい)
共にイエスさまのお誕生日を覚え「喜びと感謝のひととき」を過ごしたいと思います。
皆様のご参加をお待ちいたしております。



■編集後記

同窓会報「栄光台の薫風 第5号」を発行することが出来たことを、とても嬉しく思っております。お忙しい中、ご寄稿下さいました先生方、同窓の方々には、心より感謝申し上げます。これからも思い出深い学院や、様々な場所でご活躍の同窓生の様子をお伝え出来ますよう、努めて参りたいと思っております。また、皆様からのメッセージも頂戴いたしたいと思っておりますので、事務局宛に郵送、FAX、Eメールなどで、お送り下さいますようご協力をお願いいたします。
(編集委員: 新澤 祥恵・青木 由香)

2005年7月9日発行

発行: 北陸学院短期大学同窓会
〒920-1396 金沢市三小牛町イ11番地
ライザー記念館内
TEL/FAX 076-280-3830
E-mail/jcog@hokurikugakuin.ac.jp
印刷: 活文堂印刷株式会社